令和4年度町政懇談会における町民の皆様からのご質問等に対しての対応状況一覧

　令和4年10月23日に開催した町政懇談会において、町民の皆様からのご質問に対する対応状況について、下記のとおりお知らせします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 質問内容 | 町政懇談会開催時の回答 | 対応状況 |
| 1 | 楢葉北小学校跡地に支援学校が建設される。支援学校の子どもたちとの交流を計画していただきたい。 | 令和6年に支援学校が出来た際には交流計画を組めるようにしていきたい。 | 令和５年度は、楢葉中学校特別支援学級との交流を２回計画しています。楢葉小学校との交流等については学校間で検討していきます。 |
| 2 | 現在高齢者を介護していて、介護用品を買うのに少し手間取っている。地元にある薬局を利用したいので、介護用品の品揃えをしてほしい。  また「こういう商品があります」と商品案内を発信してもらうと買い求めやすい。 | 当初どういった介護商品を揃えるか、薬局側で検討していた。今後住民の方の要望があれば、品物をどんどん増やしていく。商品案内についても発信していくよう、要望していく。 | 介護用品については、種類が多くサイズなどもあるので、多くの用品を揃えるのは難しいが、町民の要望があれば揃えている状況です。  商品案内については、地域ミニディなどでお知らせしているところであり、今後も様々なところで情報発信を考えています。 |
| 3 | ここなら笑店街の駐車場が大変狭い。富岡町のさくらモールの駐車場のように改良してほしい。 | 笑店街の駐車場の件については、広い区画を設けることができるかどうか、検討する。 | 国や事業者と協議中 |
| 4 | カーブミラーについて、国道6号から坂道を登って総合グラウンド脇を通る町道へつながる道で坂を登りきる前の土地にカーブミラーを設置してほしい。 もう一点、生コン工場のところにカーブミラーが1つあるが、工場側で門柱を建ててしまいカーブミラーが一切役に立っていないため、位置の見直しをしてほしい。 | 井出地区のカーブミラーについては現地確認を行う。  生コン工場の方は、県道沿いになるため土木事務所と相談し現地確認を行う。 | ○井出字八石地内のカーブミラーについては、現地を確認したところ既に設置されています。  ○井出字木屋下地内双葉住コン前のカーブミラーについては、双葉住コンの所有物であるため、町としての対応は考えておりません。ただし、付近の道路の形状等を考慮し、新たに設置する必要があれば、道路管理者である福島県と協議のうえカーブミラーを新設したいと考えています。 |
| 5 | 町道の草刈りや側溝の掃除について、誰がどこをやっているか図面に落とし込めば、町の建設課で効率的に草刈りをできると思う。町でボランティアということで図面を作ってほしい。 | ボランティアとして「実際はここをやっているよ」という情報があれば、町のほうでも作業節減につながる。行政区とボランティアでやっていただけるようなところが行政区から提示があれば、地図に落とし込み提供する。 | 各行政区長に対し、地元や個人で除草等の作業を実施可能な箇所について、聞き取りを行った。  その結果、ボランティアではないが、町の補助を利用し道路の除草作業を実施できる制度があり、この活用数が増加したことで、昨年度と比較し除草費用が縮減された。 |
| 6 | 天神岬公園にあるトイレが2か所ありますが、和式トイレになっている。気持ちよく利用してもらい楢葉町の印象も良くするために、シャワー付き洋式トイレに取り換えていただけると、利用者に喜んでいただけるんじゃないか。 | 昨年、洋式のシャワー付き洋式トイレに改修している。 | 改修済み |
| 7 | 総合グラウンドのトイレをシャワー付き洋式トイレに変えてもらえないか。 | 今後使いやすい形にしていくよう検討させていただきたい。 | トイレの使用頻度と費用対効果を含めトイレの改修について検討している。 |
| 8 | スカイアリーナについて、現在1,600万円くらいの売り上げがでているが、それに対して6,000万円くらいの経費がかかる。利用方法をもう少し考えていただきたい。 | いわきから福島県全体に向けてPRをして、なるべく利活用していただけるようにしたい。また、ファイヤーボンズというプロバスケットチームの公式試合も行っている。これを町民の皆様、あるいは町外の皆様に向けてPRをしてどんどん来ていただけるようにしたい。  加えて町民の皆様に是非使っていただきたい。 | 先に開催した大相撲楢葉場所など、各種イベントでご利用いただいており、県内外を問わずならはスカイアリーナの認知度は高まっています。  今後は、合宿による利用の促進と町民の皆様が、  気軽に利用できるよう取り組みます。 |
| 9 | 西原地区に、3軒ばかり家や古いアパートを利用して企業が来て、軽自動車や事務所を置いている。また、他県ナンバーのトラックがその家の前に止まっている。最終的には持って行ってくれるものの、ごみボックスに色んなものを滅茶苦茶に入れて残されている。ここにいる人は町に住民登録をしているのか。 | 竜田駅周辺の民家を借り上げているような方たちがいるのは把握してる。住民登録をしているかどうかということについては、把握していない。  またごみの出し方に問題がある点は、町としても指導に当たりたい。 | 当該住宅へは指導を実施しました。  その後も、定期的なパトロールを行っており、現在のところ、ごみステーションの利用状況に問題は見られません。 |
| 10 | 東京電力からの支援活動について、高齢者など不在住居の樹木の刈り払いや雑草類の刈り払いについて、今までは東京電力からの支援活動があったが、「２年前に終わった」と聞いた。どういう流れで廃止になったのか。  また、高齢の町民のことを鑑み、制度を復活させてほしい。 | 東京電力の支援を止める判断というものは、町と東京電力、そして生活再建コールセンターの受付をしてたならはみらいの3者による協議で、令和2年度で終了することになった。  また、復活してほしいという意見だが、 ご自分の庭木の手入れ等については、大変な部分があると思うが、シルバーセンター等にお願いをするなどして手入れをしていただきたい。 | 東京電力へ連絡をし、役場内で経緯を説明し協議を行った。  東京電力からは「行えない」との返事だった。 |
| 11 | 井出集会所にポストをつけてほしい。 | 郵便ポストについては、日本郵便が町の集配の状況等を考えて設置している。日本郵便株式会社に、今回の要望があることお伝えする。 | 日本郵便株式会社に伝えましたが、ポストの増設は、現時点で難しいとのこと。 |
| 12 | マイナンバーカード取得の為、町で出前のようなサービスを考えてもらえれば、お年寄りにも優しい町になると思う。 | 役場に来てもらい、タブレットで写真を撮影して申請するという方も増えている。ある程度の件数があり、どうしてもいけないという家庭があれば、リクエストに応じて役場から出張して対応したい。 | ある程度まとまった件数の場合、連絡いただいて訪問対応したい。 |
| 13 | （一連の不祥事の件）  通勤手当の支払い者は何人いるのか。  役場の契約者・発注者の関係者、監督員や研修員、こういう方々を含めていわゆるチェック体制というか、責任のあり方についても問題があったのではないか。 | 基本的に2キロ以上の通勤距離がある場合には通勤手当を支給し、職員の7割から8割は支給対象となり通勤手当を受け取っている。  責任の問題について、3つの不祥事とも本人自身のモラルや倫理間の欠如というのはあるが、併せて組織の問題もあった。職員の管理、交付金の管理、情報の管理といった部分で、管理体制に甘さがあったと感じている。 |  |
| 14 | 不在住居の樹木の刈り払い、雑草類の刈り払いについて、東京電力からの支援活動があったがなぜやめたのか。東京電力側から辞めるという申し入れがあったのか。 | 東京電力の支援を止める判断というものは、町と東京電力、そして生活再建コールセンターの受付をしていたならはみらいの三者による協議により決定した。  ご自分の庭木の手入れ等についてはシルバーセンター等への手配という形でお願いしたい。 | 同左 |
| 15 | ごみ処理問題について、漬物の重しやビールケース、台車などを受け入れてもらえない | 漬物石の場合は広域圏の方では受け入れをしない。ビールケースも2つか3つ程度であれば、ご自宅で使っていたと判断し受け入れてくれるとのこと。 | 同左 |
| 16 | 今後　ごみ屋敷が出てくる心配がある。ごみ屋敷対策について検討内容はあるのかないのか。 | 高齢者関係のごみ捨てに関して、ゴミをなかなか持っていけず捨てられない高齢者が増えてくるということで、ある程度介護が必要である方についてはゴミを出す家事支援というサービスがある。また町が進めている地域包括ケアシステムがあり、困った人がいれば隣人が助けるというシステムを全町民で築き上げていくことが解決方法の1つなのではないかと考える。 | 要介護者や障がい者の方に対しては、ヘルパーによる家事援助サービスにより引続き給付事業を行っています。  また、地域包括ケアシステムのより一層の強化を進めており、現在、上記サービスの該当しない方も対象とできるような、有償ボランティアの仕組みづくりについて、社会福祉協議会等の関係機関と検討を進めているところです。(※一部負担金の免除終了のタイミング等を考慮しながら実施を検討中) |
| 17 | 害虫駆除の問題。散布の仕様書や、やり方を作っているのかどうかを質問したい。まとめて実施することでトラブル発生を全部防げると思う。隣近所をまとめて、同じ日にやっていただきたい。 | 遠くない距離でまとめてやったほうが効率的だと思う。作業時には必ずチャイムを鳴らしてから「これから作業を始めます」と伝えているようだが、何度チャイムを鳴らしても、出られなかった場合もあった。業者は事前に連絡と、当日ももちろんご挨拶をしてから作業を行っているため、ご理解いただきたい。 | 同左 |
| 18 | 行政区でやる行事というのはある程度限られていて、いざ駅前で何かやりたいなと何人かで集まっても、それを起こすことはなかなか私たちには大変な状態。交流館でしかやっていないことを、もう少し小規模で、竜田駅前や木戸駅、街中の空き地活用で行事をやっていただき、ならはみらい以外に地域住人に協力してもらうというやり方で、みんなで人間関係を作っていく、楽しみを作っていく、後世代間のつながりを作っていくというきっかけになればいいなと思う。 | 町とならはみらいとで、そういった小さなイベントも。どういったお手伝いができるか考えていきたい。 | 各地区において夏祭りが再開されてきています。地区の伝統行事の継承やコミュニティづくり、賑わいづくりのためにも、地域の方々による様々な行事の実施を期待しています。町やならはみらいでは、イベント実施に際しての相談・支援をしてまいります。有効な空き地の活用については、地権者との調整がなされれば、イベントの効果を高めることにつながるものと考えます。 |